

(仮称) サンサンファームの復活に向けた取組状況について

(仮称) サンサンファームの復活に向けた取組状況について報告します。

1 (仮称) サンサンファームの復活に向けた考え方

(1) 位置づけ

海岸線ビジョン実施計画においては、南部の活性化策として、「サンサンファームの再生」がリーディングプロジェクトのひとつとして位置付けられている。

これに基づき、単にこれまでの直売所を中心とした機能を再生するのではなく、多目的機能を有する拠点への転換を図り、地域内外から人が集まり、目的地として選ばれる交流拠点をめざすこととする。

サンサンファームの復活にあたっては、以下の方針に基づき、持続可能な運営と地域活性化の両立を目指す。

(2) 方針

- ① 強固な経営基盤と高い集客力・集荷力のある企業を中核的な運営体として据え、事業の継続性と安定性を確保する。
- ② 地域活性化への意欲を持つ市民・団体・企業が継続的に運営やイベントに関われる環境をつくる。
- ③ 農産物販売に加え、加工品、工芸品の販売、体験プログラムなど多様なコンテンツによる収益構造とする。
- ④ 深刻化する地域の伝統技術の継承問題を同時に解決する。
- ⑤ 国道 150 号線沿いの自治体や観光資源との連携など広域的な事業展開を進める。

2 これまでの取組の経緯

(1) 地元説明会

- ・ 11 月 26 日～12 月 3 日まで計 5 回、掛川みなみ商工会、大須賀支所、掛川商工会議所を会場に実施。計 150 人の生産者等が参加。
- ・ プロジェクトの概要、スケジュール等を説明。

(2) 議会への状況報告

- ・ 1 月 15 日の全員協議会において、「(仮称) サンサンファームの復活に向けた取組状況」を報告。

(3) 運営事業者公募型プロポーザルの実施

- ・ 3 月 24 日に選定委員会を実施。

3 公募型プロポーザルの結果

- (1) 実施日時 3月24日(火) 午前9時30分
※2月10日から3月13日までが募集期間
- (2) 応募事業者数 1社(辞退1社) ※事業者名非公表
- (3) 選考結果 施設候補者の選定には至らなかった。
- (4) 選定に至らなかった理由 評価基準に達しなかったため。評価基準は別紙1のとおり。
※評価内容は非公表
- (5) 今後の対応 再度、募集内容や条件を見直したうえで、公募型プロポーザルを実施する。

4 地元説明会の開催(予定)

- (1) 日時 4月28日(火) 午前10時から 掛川市役所大須賀支所南館
5月1日(金) 午後6時から 掛川市役所大須賀支所南館
- (2) 内容 現在の状況と今後の予定

5 当面の今後の予定

- (1) 再度の公募プロポーザルに向けた準備
 - ・3月24日に実施したプロポーザルでは、応募事業者が1社であったことや、掛川市が求める基準に達しない結果であったことなどから、参入障壁の解消や、市が望む運営モデルとのミスマッチを防ぐ検討を行い、再度、サウンディング調査を行ったうえで、公募型プロポーザル実施要領の見直しを行う。
 - ・上記の準備が整い次第、速やかに、再度、公募型プロポーザルを実施する。
- (2) 必要な工事の実施
 - ・電気設備等早急な対応が必要な工事の実施
※R8当初予算(実施設計委託料 5,000千円、改修工事費 30,000千円)
- (3) 機運醸成に向けたイベント開催
 - ・(仮称)サンサンファーム復活に向け、市民や生産者、関係団体との一体感を高めるため、農産物の販売などイベント実施を計画する。
※R8当初予算(開催委託料 500千円)